

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	田中精密工業株式会社
【英訳名】	TANAKA SEIMITSU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 岩井 逸雄
【本店の所在の場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業企画ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【最寄りの連絡場所】	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
【電話番号】	076(451)7651(代表)
【事務連絡者氏名】	営業企画部事業企画ブロックブロックリーダー 稲垣 浩靖
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第1四半期 連結累計期間	第63期 第1四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	10,968,263	13,118,233	47,179,968
経常利益 (千円)	427,156	446,431	1,635,102
四半期純利益又は当期純損失( ) (千円)	215,632	122,422	11,993
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	117,482	1,132,048	1,966,098
純資産額 (千円)	17,842,280	20,444,422	19,533,099
総資産額 (千円)	43,613,192	52,059,178	49,274,254
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額( ) (円)	22.09	12.54	1.23
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	33.8	31.5	32.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第62期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第62期第1四半期連結累計期間及び第63期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりです。

#### 技術供与契約

提携先	契約年月日	提携内容	備考	契約期間
タナカ・プレジジョン・ベトナム・カンパニーリミテッド（注）	平成25年4月1日	技術支援及び、ノウハウと工業特許権を使用するライセンスの提供	契約期間後毎年自動更新	自平成25年4月1日 至平成27年3月31日

（注）上記の技術供与契約においては、ロイヤリティとして売上高の一定率を受取ることとしております。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による積極的な景気対策および金融緩和等による円高是正、株高の進行などを背景に景気回復・企業業績の改善が見られましたものの、円安による燃料・原材料価格の上昇や海外経済の先行き懸念から依然として不透明な状況で推移いたしました。

主要取引先である自動車業界では、国内生産はエコカー補助金終了後の国内販売回復の遅れや海外への生産移管等により低迷傾向にありますものの、海外生産は米国市場や新興国市場が堅調に推移いたしました。

このような状況にあって当社グループは、“グローバルステージにおける競争力の抜本改革”の実現に向け、第12次中期（平成27年3月期～平成29年3月期）のプレ展開として、「攻めの合理化」を掲げ、生産/管理の合理化、合理的な開発、インド・ベトナムにおける新拠点の合理的な立上げを目指し、重点施策に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高につきましては、国内の減少はありましたものの、米国における北米生産の回復やタイ国における洪水影響からの復旧、また円安に伴う為替換算の増収影響等により、13,118百万円（前年同期比19.6%増）となり、損益につきましては、増収効果や全社を挙げての原価低減努力により、営業利益492百万円（前年同期比15.9%増）、経常利益446百万円（前年同期比4.5%増）、四半期純利益122百万円（前年同期比43.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### 日本

売上高につきましては、国内向けロッカーアームをはじめその他主要製品の減少により、5,586百万円（前年同期比11.3%減）となり、損益につきましては、133百万円のセグメント損失（前年同期は127百万円のセグメント利益）となりました。

##### 米国

売上高につきましては、顧客の北米生産回復に伴うロッカーアームの増加や為替換算影響により、5,237百万円（前年同期比57.5%増）となり、損益につきましては、416百万円のセグメント利益（前年同期比179.8%増）となりました。

##### タイ

売上高につきましては、一昨年の現地完成車メーカーの洪水影響からの復旧に伴い、ロッカーアームをはじめ4輪主要製品の増加や為替換算影響により、2,291百万円（前年同期比70.4%増）となり、損益につきましては、115百万円のセグメント利益（前年同期比116.7%増）となりました。

##### インド

売上高につきましては、平成25年6月より顧客への納入開始により、3百万円となり、損益につきましては、量産立上げ費用等により72百万円のセグメント損失（前年同期は17百万円のセグメント損失）となりました。

##### ベトナム

売上高につきましては、生産開始予定が平成26年2月のため発生しておりませんが、損益につきましては、設立費用等により1百万円のセグメント損失となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、239百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,640,000
計	32,640,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,763,600	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,763,600	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	9,763,600	-	500,190	-	324,233

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,760,400	97,604	-
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	9,763,600	-	-
総株主の議決権	-	97,604	-

## 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
田中精密工業株式会社	富山県富山市新庄本町二丁目7番10号	2,800	-	2,800	0.03
計		2,800	-	2,800	0.03

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,477,288	5,399,592
受取手形及び売掛金	6,297,608	6,906,556
有価証券	20,433	19,334
商品及び製品	2,118,328	2,339,820
仕掛品	2,263,256	2,139,566
原材料及び貯蔵品	3,229,853	3,824,507
その他	1,245,111	1,331,926
貸倒引当金	249	249
流動資産合計	19,651,632	21,961,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,906,017	6,019,717
機械装置及び運搬具(純額)	13,484,020	14,571,283
土地	2,574,595	2,602,825
その他(純額)	3,569,859	2,552,740
有形固定資産合計	25,534,493	25,746,566
無形固定資産		
その他	158,567	155,416
無形固定資産合計	158,567	155,416
投資その他の資産		
投資有価証券	3,074,890	3,227,468
その他	911,970	1,025,972
貸倒引当金	57,299	57,301
投資その他の資産合計	3,929,560	4,196,139
固定資産合計	29,622,621	30,098,122
資産合計	49,274,254	52,059,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,580,480	3,961,067
短期借入金	6,201,400	7,055,000
1年内返済予定の長期借入金	3,254,403	3,328,915
未払法人税等	17,333	81,276
引当金	34,100	6,975
その他	5,943,493	6,532,512
流動負債合計	19,031,209	20,965,746
固定負債		
長期借入金	6,614,664	6,355,336
退職給付引当金	1,507,161	1,662,604
資産除去債務	47,989	48,044
その他	2,540,130	2,583,023
固定負債合計	10,709,944	10,649,008
負債合計	29,741,154	31,614,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	13,951,327	13,995,664
自己株式	2,620	2,620
株主資本合計	14,773,130	14,817,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,142,262	1,239,854
為替換算調整勘定	129,375	317,955
その他の包括利益累計額合計	1,012,887	1,557,810
少数株主持分	3,747,082	4,069,145
純資産合計	19,533,099	20,444,422
負債純資産合計	49,274,254	52,059,178

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,968,263	13,118,233
売上原価	9,343,065	11,270,854
売上総利益	1,625,197	1,847,378
販売費及び一般管理費	1,199,840	1,354,518
営業利益	425,357	492,860
営業外収益		
受取利息	477	11
受取配当金	10,964	11,529
スクラップ収入	32,942	41,724
受取補償金	21,309	-
その他	12,595	14,622
営業外収益合計	78,290	67,888
営業外費用		
支払利息	66,198	107,677
その他	10,291	6,638
営業外費用合計	76,490	114,316
経常利益	427,156	446,431
特別利益		
固定資産売却益	221	3,315
特別利益合計	221	3,315
特別損失		
固定資産売却損	36	51
固定資産除却損	9,532	3,002
投資有価証券評価損	-	2,217
特別損失合計	9,569	5,271
税金等調整前四半期純利益	417,808	444,475
法人税等	144,072	186,418
少数株主損益調整前四半期純利益	273,736	258,057
少数株主利益	58,103	135,634
四半期純利益	215,632	122,422

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	273,736	258,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265,574	97,588
為替換算調整勘定	109,320	776,402
その他の包括利益合計	156,253	873,991
四半期包括利益	117,482	1,132,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	722	667,293
少数株主に係る四半期包括利益	118,205	464,754

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

四半期連結会計期間に係る法人税等については、当第1四半期連結会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

従業員の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
従業員11名	7,898千円	従業員10名	6,202千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	773,865千円	1,017,399千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	39,043千円	4円	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	78,086千円	8円	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	インド	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	6,298,899	3,324,498	1,344,865	-	10,968,263	-	10,968,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,298,899	3,324,498	1,344,865	-	10,968,263	-	10,968,263
セグメント利益又は 損失( )	127,032	148,900	53,187	17,253	311,867	113,489	425,357

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主要内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	311,867
セグメント間取引消去(注)	113,489
四半期連結損益計算書の営業利益	425,357

(注)主に支払ロイヤリティ及び技術支援に関する費用の取引消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	インド	ベトナム	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	5,586,516	5,237,280	2,291,188	3,247	-	13,118,233	-	13,118,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	5,586,516	5,237,280	2,291,188	3,247	-	13,118,233	-	13,118,233
セグメント利益又は 損失( )	133,170	416,695	115,266	72,135	1,695	324,959	167,900	492,860

平成25年1月にベトナムにおいて、タナカ・プレジジョン・ベトナム・カンパニーリミテッドを設立したことに伴い、  
 前連結会計年度より報告セグメントに「ベトナム」を新設しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	324,959
セグメント間取引消去(注)	163,378
有形固定資産の未実現利益の調整額	4,521
四半期連結損益計算書の営業利益	492,860

(注)主に支払ロイヤリティ及び技術支援に関する費用の取引消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円9銭	12円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	215,632	122,422
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	215,632	122,422
普通株式の期中平均株式数(株)	9,760,874	9,760,798

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

田中精密工業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上坂 善章 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中川 敏裕 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安藤 眞弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田中精密工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田中精密工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。